



愛隣幼稚園.....

# 園だより

.....20. 5月

## みんなが笑顔でありますように

子どもたちも大人たちも元気でしょうか？来週にはばら組と大きい組のみんなに会える！その次の週には新しく愛隣の仲間になるみんなにも会える！そう思っていたのに、再度延長です。残念です。みんなに会えない時間ばかりが長くなっていますが、先生たちは4月から毎日（土日休日を除いて）動画を配信する、というチャレンジを始めました。楽しんでもらえているでしょうか？私たちの声や表情がリアルに届いたら、縮めることができない距離を少しでも縮められるかなと思いつながら、今までやったことがないことに挑戦してみました。始めてみると、先生たちは面白がって動画配信のメニューを考え、楽しんで出演、製作してくれています。どんどん凝った作品になっています。どの先生も子どもたちやお家の人たちに笑顔になってほしい、できれば声に出して笑ってほしいと思っているので、熱が入り過ぎて時々お笑い番組のようになってしまいます。でも気持ちまで塞ぎ込んでしまいそうな時だから、本当に笑って元気になってほしいと思っています。園庭に遊びにきてくれたお家の人から、「見てます！」「毎日楽しみにしてます。」と聞くと嬉しくなります。「子どもたちがユーチューバーごっこやっています。」なんて聞くと、実は先生たちも“私たちユーチューバー？”なんて言いながらやっているの、ニヤツとしてしまいます。嬉しい気持ち、楽しい気持ちのやり取りができて私たちが元気になります。ただ気になっていることは、どのご家庭にも動画を観ることができるネット環境があるのかどうかということです。観られないよ～という方がいたら、何かいい方法を考えないとです。みんなが笑顔になってこそです。だからということでもありませんが、今日も先生たちはみんなところにお手紙を届けます。アナログだなと思いますが、これは確実！届けたいと思うもの（こと）をみんなに届けることができます。どの子も愛隣の子、どのお家の人もみんな愛隣に繋がってくださる方ですから。

さて、幼稚園も学校もお休み。大人も在宅ワーク。外出も自粛。家の中に大人も子どももずっといたら、ろくなことにならないのは予想されたことです。ひろ～い家なら離れて過ごすこともできるでしょう、おまけにひろ～い庭まであったりしたら、言うことはありません。でも、そんな家に住んでいる人がいったいどれくらいいるのでしょうか。地方の一戸建てが当たり前のようなところならいざ知らず、千葉市稲毛区では・・・。だったらどうするのか、転んでもただでは起きない心意気で（英語圏には Never Waste a Good Crisis〈この危機を無駄にするな〉という言葉もあるようです。坂東眞理子さん（昭和女子大総長）が新聞に書かれていました。）、知恵を出して愉快地気持ちよく家族みんなが生活できることを考えられたらいいなあと思います。そこで提案です。（愛隣のお家の皆さんですから、すでにいろいろやっつけいらっしやるかもしれませんが・・・）

**☆その1 いつもと同じ生活リズムでいきましょう！**家族みんなが在宅ワーク（子どももここにいることを強いられているひとりです。）になりました。平日はいつもの平日と同じように起きて、着替えて、きちんとご飯を食べましょう。で、通勤時間がなくなったお父さんと一緒に、家族みんな朝活！なんてどうでしょう。“朝の散歩”です。のんびり歩く日、汗をかいて歩く日、いろいろあっていいと思います。リセット、リフレッシュ、運動不足の解消、そして非日常が子どもたちにはとても楽しい。みんなで“笑顔”になれるかも。さて、あなたのアイデアは？

**☆その2 非常事態です。“こうでなければならぬ”はやめましょう。**今は、誰も経験したことがないことが起こっているのです。これまでと同じことを維持し続けようとするほどどんどんストレスが溜まっていきます。苦しくなります。非常事態！と割り切り諦めて、今を楽しみましょう。時間だけはいっぱいありますから、スローな生活をENJOYするぞ、くらいがちょうどいいかも

れません。そう子どもってそもそも、今を生きてる人だしゆっくりした時間の中にいる人です。効率の良さが価値の高さと思っている大人が、意識を替えた方が簡単かもしれません。そして子どもにもちゃんと生活者の一人になってもらいましょう。〈一食はみんなで作る〉昼ご飯が夕ご飯になってもいいじゃありませんか。効率悪くても実りが少なくてもそれでいいと諦めて、プロセスをみんなで楽しめたらいいのですが、いかがですか？

**☆その3 母が笑っていたらみんな幸せ！** 子どもとずっと一緒にいるのは辛いものです。もし、パートナーとゆっくりしゃべる時間もなかったらなおさらです。園庭にきたママが「一人目を産んだ最初の子育てを思い出しちゃった。気が付いたら誰ともしゃべってないって。」それを聞いて私も同感。それって辛かったなあって。そして、家の中で一人になる空間や時間が無いことも辛い事です。親が安定することもこんな時には大事なことです。だからたまにふらっと園に立ち寄ってください。園庭に誰もいなかったら職員室に声をかけてください。大人が居ますから。話、喜んで聴きますよ～。そして家ではトイレに少し長く籠るとか(笑)、子どもとお風呂に入るのはパートナーと交替でとか、子どもは8時に寝かしちゃうとか、段ボールでパーソナルスペース作っちゃう(誰がそこに入る?)とか(笑)、いつにも増して自分時間の確保も大切にしてください。いいんです！いつもよりほんといっぱい子どもと一緒に時間を過ごしているんですから。一生懸命頑張ってますから。自分がホッとすることも大事にしましょう。母が笑っていると家族も笑顔になるんです。

**☆その4 携帯OFF！** 心配や不安でSNSから情報収集する時間が多くなり過ぎていませんか。私もそうです。でも、それで安心することにはならないようです。心穏やかになるような情報はほとんどありません。むしろ、不安は増幅され、心が疲れてしまっています。テレビもコロナウィルスの話ばかりです。情報を得ることは大事なことです。自分でコントロールすることを忘れずに。遮断する時間も大事です。眼も疲れます。肩も凝りますからね。

**☆その5 でも、やっぱり子どものことも考えましょう。** 子どもたちは大人の社会が大変なことになっていることを知っています。何がどう大変なのかはわからなくても、これはなんだかいつもとは違うと感じているのです。だから子どもも不安になっています。ストレスが溜まっていますから、それを爆発させることもあるかもしれません。感情に出さなくても体調に現れるかもしれません。大人の危機を感じていい子になる子もいます。突然、在宅ワークなんてことも始まりました。これも初めての事です。“家庭”に“仕事”が持ち込まれるなんて、一大事です！“私”の中に“公”が持ち込まれてしかもそれが中心に置かれたりするわけで、これはとんでもない事です。くつろぎの場に緊張がやってきたとき、どんなふうに家族の生活を成り立たせるのか、これは大きなチャレンジです。お父さん、これは大事件ですよ！ここは家族がホッとしていい場所でした。子どもは泣いたり騒いだりしてもいい場所でした。だから、気持ちよく仕事ができるように、同じように他の家族も気持ちよく生活できるように、家族が笑顔になれるようにみんなで考えましょう。大人がこんなに我慢をしているのです。子どもたちはもっと我慢しています。

目に見えないウィルスの攻撃を受け、人類はタジタジです。当たり前と思っていた生活もたくさん制約を受けています。不自由な生活を強いられています。生活そのものが成り立たなくなっている方たちもいます。危機がやってきたとき、その社会が隠していた脆弱さが露呈されます。同時になくてはならないことも見えてきます。Never Waste a Good Crisis<この危機を無駄にするな>私はこの事態が終息したあとは、シフトチェンジが必要なのではないかと考えています。もっともっとではなく、丁寧にじっくりでもいい。私は大事にされていると誰もが実感できるような日常が創られたらいいなと思っています。

また、みんなに会える日は遠くなってしまいましたが、その日を楽しみにしています。何度も何度も期待が外れて、ちょっと挫けてしまいそうですが、「めげるじゃないか～」と弱音も吐きながら、『笑う力』を失わないように、今日も笑っていきましょう。

あなたは今日、笑いましたか？